

令和5年度事業計画書

横浜市鶴見区民文化センター

指定管理者 神奈川共立・ハリマビシステム 共同事業体

横浜市鶴見区民文化センター サルビアホール

令和5年度業務計画

神奈川共立・ハリマビシステム 共同事業体

1 施設の概要

施設名	横浜市鶴見区民文化センター サルビアホール
所在地	横浜市鶴見区鶴見中央 1-31-2 シークレイン内
構造・規模	鉄骨造、鉄筋コンクリート造地上31階地下1階建ての地上3階から7階部分の各一部を専有（区分所有）
敷地・延床面積	専有延床面積 4,963 m ²
開館日	平成23年（2011年）3月4日

2 指定管理者

法人名	神奈川共立・ハリマビシステム 共同事業体 代表企業 株式会社神奈川共立
所在地	横浜市西区岡野 2-6-6 ISAビル
代表者	森山 英明
指定期間	令和4年（2022年）4月1日から令和9年（2027年）3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

（1）基本的な方針

鶴見区民の皆様が身近な場所でより質の高い文化芸術により多く触れて頂く機会を増やし、創造性や感受性が育まれる鶴見区の街づくりに貢献するよう努めます。

『横浜芸術アクション事業』の年度毎テーマに取組み、横浜市の芸術プレゼンスに連動し、鑑賞事業を推進致します。

鶴見区の「文化ネットワークの形成」を目指し、館長自身が地域コーディネーターとなり、地域の様々な文化的な課題解決に取り組むたいと考えます。

《方針の骨子》

1. 安心・安全で快適な場の提供
 - ① 文化芸術活動の場の提供（貸館）
 - ② 文化芸術との出会いの場の提供（自主事業）
 - ③ 持続可能性を高める施設運営（維持管理・感染症対策）
2. 未来に繋がる人材育成次世代育成
 - ① 鶴見区の文化的資源の発掘・支援
 - ② 子どもたちを対象とする育成プログラムの提供
 - ③ 地域の文化芸術活動を主導する人材の育成
3. コミュニティの活性化・ネットワーク形成
 - ① 様々な文化団体、公共施設、地域コミュニティとの連携
 - ② 地域コーディネーターの育成
 - ③ 文化的コモンズ形成

(2) 令和5年度の位置づけ

①事業の方針

鶴見国際交流ラウンジ、鶴見中央コミュニティハウスとの連携をさらに強化していきます。地域性を活かしたイベントの実施をし、幅広い年齢層に対してのアプローチ、鶴見区内に住む外国籍の方にも来館していただける施設を目指します。

地域メディアに協力いただき、文化・芸術・アート活動を行っている団体との連携した事業を展開していきます。

未来の文化活動を主導する人材を育成する「こども企画委員」を発足し、令和6年度に成果発表を実施する。

②運営の方針

地域貢献をされている団体に対して、積極的に共催事業を行います。広報をサポートし、一人でも多くの区民に来館していただくことを目指します。サルビアホールを多くの方に知っていただけるように、SNSを活用した広報を強化します。

③管理の方針

安全で快適に施設を利用できる環境を維持します。設備保守、安全対策、緊急時対応において確固たる仕組み作り、修繕等長寿命化を意識した維持管理の効果的な実践を徹底します。

4 事業に関する業務計画

鶴見区民文化センターでは「横浜市公共建築物天井脱落対策事業計画」に基づき、令和5年6月1日より令和6年7月31日にかけて、ホールの天井脱落対策工事を行う予定です。

工事期間中も施設での文化事業を継続するとともに、他施設との連携や区内全域へのアウトリーチ事業を展開していきます。

(1) 集客率目標

鶴見区の文化振興を目的として、多くの区民にさまざまな芸術文化の鑑賞機会、文化・カルチャーを主軸としたワークショップを提供します。集客率は現実的な数字として、ホール85.5%（4月～5月の期間）、音楽ホール90%を目指します。

(2) 鑑賞事業の充実を図る

さまざまなジャンルの鑑賞事業を行います。ホールの天井改修工事期間においても、音楽ホール、ギャラリーやリハーサル室での積極的な文化事業を実施するとともに、近隣施設と連携して自主事業を実施していきます。

(3) 鶴見区民に愛されるアーティストの選定及び育成

「サルビア・アーティストバンク」では才能あるアーティストを区民の方々に紹介し、文化芸術に触れる機会をサポートする仕組みを設けています。毎年度オーディションを開催して登録するアーティストの選定を行いますが、ホールの天井改修工事が行われるため、実績のあるアーティストを中心にスカウトを行うことで継続的に実施していきます。

(4) 区民参加型事業推進

横浜市の文化政策における区民協働の基本方針を深く理解し、区民参加型事業を積極的に実

施します。また、区民文化祭の開催に協力し、区民の文化活動を積極的に支援します。

(5) 地域社会とのネットワークづくり

日常的に文化芸術に触れる機会を提供するため、小中学校、地区センター、コミュニティハウスやわっくん広場等でアウトリーチを行い、演奏家やダンスパフォーマー等の人材を育成していきます。

また、主に小学生～高校生を対象として、鑑賞事業やその他のイベントを企画し運営する「子ども企画委員」を募集し、スタッフのコーディネートのもと、企画の実現に向けた活動を行います。

(6) コミュニティハウス・国際交流ラウンジとの連携

鶴見中央コミュニティハウスや鶴見国際交流ラウンジとの共催にて「3館合同オープンデー」を開催します。各館との連携を強化するとともに、地域の文化芸術活動の成果の場、地域交流の場を提供します。

(7) 多様な切り口による鑑賞事業・体験ワークショップの実施

文化庁の方針や『横浜芸術アクション事業』の毎年度テーマに基づき、時代のニーズにあわせた広い分野の催しを企画・運営していきます。令和5年度においては「横浜トリエンナーレ」開催に合わせ、関連事業として、現代アートの展覧会を計画しています。

(8) 文化活動に関するネットワーク構築

館内のレイアウトを変更するとともに、3階通路に設置している交流掲示板を情報コーナー付近へ移設し、利用者がサークルメンバー募集をしたり、アーティストが公演ボランティアを募集できる機会を創出します。SNSも活用することで、さらに利用者の活動を支援する方法を検討していきます。

(9) 「わたしはピアニスト」の継続実施

音楽ホールの利用予約のない日を活用して、グランドピアノをひとりで1時間自由に弾くことのできる事業「わたしはピアニスト」を継続して実施していきます。

(10) 横浜市芸術文化教育プラットフォーム：学校プログラムを継続実施いたします。

(11) 文化的コモンズの形成に関する具体的推進

区民文化センターが地域文化のプラットフォームとなり、地域のコーディネーターとしての役割を高める為の方策を実践します。

(12) コンプライアンス研修を実施します。

人権研修、ハラスメント研修、個人情報保護研修、著作権研修等を実施します。

(13) 自主事業一覧 別紙(自主事業一覧)

5 施設の運営に関する業務計画

(1) 人員配置について

項目	人数	備考
館長	1人	運営管理事業全般にわたる統括責任者
事業担当責任者	1人	自主事業の企画制作業務全般にわたる責任者
受付事務責任者	1人	受付事務業務全般にわたる責任者
受付事務・事業担当者	4人	受付事務業務全般、自主事業の企画制作業務
舞台管理責任者	1人	舞台管理業務全般にわたる責任者
舞台管理者	5人	舞台管理業務
維持管理責任者	1人	維持管理業務全般にわたる責任者
清掃スタッフ、巡回設備員	8人	日常清掃、巡回設備点検業務
カルチャースタッフ	15人	受付事務補助業務

(2) 勤務体制について

当事業体の各スタッフは、それぞれが専門業務を持ち、専門性を磨きながら組織自体は横断的に業務運営に努め、全体としてのパフォーマンスアップを図ります。また、働き方改革に基づき労働基準法を守り、無理のない勤務体制の中で、稼働の状況に合わせた柔軟なローテーションで業務に従事します。引き続き、コロナ感染症の研修を実施し、対策を全職員一体となり取り組みます。

(3) 貸出業務について

①施設を知っていただくために、広報・情報発信の強化を図ります。利用者や自治会・商店街・保育園・幼稚園・小中学校・文化団体・公共施設などとの連携を積極的に行います。また、「サルビアホール利用者の会」を設立し、直接利用者への施設利用に関する意見の聴取及び意見交換を行います。

②スタッフの接客力の向上を図ります。短い言葉で的確に利用方法を伝えられるトレーニングを徹底致します。また、お客様の多様性に応えるべく、極力ユニバーサルデザインを心掛け、柔軟な接客対応を出来るように研修し、お客様の満足度を高めていくよう施設運営に努めます。

③利用料金の適切な徴収を心がけ、区民が支障なく利用できるような適切な貸出を行います。

④稼働率の目標値を設定

< i >日割稼働率の目標値

全諸室平均 令和5年度目標：81.6%

【内訳】 ホール：85.5%(4月～5月)、音楽ホール：90%、ギャラリー：61%

リハーサル室：76%、練習室1：98%、練習室2：88%、練習室3：90%

< ii >区分稼働率の目標値

全諸室平均 令和5年度目標：81.6%

【内訳】 ホール：82%、音楽ホール：99%、ギャラリー：60%

リハーサル室：75%、練習室1：98%、練習室2：88%、練習室3：90%

(4) 休館日・勤務体制について

全館施設点検日（休館日）は年間12日とし、その他の保守点検は部分的に諸室をクローズして対応します。また年末年始の6日間を休館日とします。また、ビル全体の避難訓練実施のため、年2日間程度午前を休館いたします。

(5) 意見・要望への対応

自主事業に来場の皆様に、ご意見を直接伺うアンケートを実施します。
また、期間を決めて来館者全員に対するアンケート実施期間を設けます。

6 施設の管理に関する業務計画

(1) 清掃業務

コロナ感染症対策から始まった、職員責任者、舞台責任者、清掃責任者の三位一体の定期ミーティングを継続して実施致します。

CO2 濃度の確認を常に心掛け、常に衛生的な環境の確保を図り、公衆衛生の向上を目的として行います。

(2) 防火設備

保守点検は専門業者に依頼して機能維持を図り、建物全体として共同防火管理に協力するとともに、お客様の安全、安心のため災害時の避難誘導、一次消火、救急救命活動などをスタッフ一同習熟します。ビル全体での消防訓練に参加します（年2回）。

(3) 舞台機構維持

舞台設備の管理については、「専門業者による定期的な保守点検及びメンテナンス」と「常駐舞台技術者による日常点検、器具の性能管理」により、事故やトラブルを未然に防ぎます。

(4) ピアノの維持

常駐舞台スタッフによる保管環境の維持と、移動時など扱いは原則 3 人体制で慎重に行い、音程・音質から、タッチに至るまでプロのピアニストの厳しい目に対応するため、定期的に精度の高いメンテナンスを施します。

(5) 保守管理業務について

年間業務予定表(別紙「令和5年度 保守点検予定表」)

(6) 環境維持管理業務について

年間業務予定表(別紙「令和5年度 保守管理年間作業計画表」)

(7) 備品管理および施設保全について

備品台帳を整備し、適切な備品管理を行います。

また、施設保全のため職員・舞台スタッフによる日常的な点検を継続して行います。

7 その他

(1) 業務記録について

日常的なデータを適切に蓄積・整理・分析し、鶴見区に提出する事業報告書に反映させます。

(2) 事業推進について

定期的な職員会議において改善提案を行い、ルールや認識を統一し休館日に行う研修会やWeb研修（防災、避難、接遇、介助、舞台、安全管理、業務マニュアル）などでカルチャースタッフも含めた全スタッフに周知します。

(3) 情報公開と個人情報保護について

情報公開規定に沿って適切に対応します。また、年度始めの研修会で全スタッフに対して個人情報保護研修を行い、個人情報の適正な管理を行います。

(4) 情報コーナーの活用

情報コーナーの利用については、コロナ感染対策のガイドラインにあわせ、随時検討して参ります。コロナ収束後は、情報の発信と区民及び利用者の文化交流の場として提供します。

(5) その他サービスの提供

- ① チケットの預かり販売（他館のチケット取り扱いを検討）
- ② チケットのWeb販売・LINEを活用した販売を継続
- ③ 登録アーティストなどのCD、DVDなど委託販売
- ④ ホームページ運営（自主事業以外でも、希望される貸館の催し物案内の掲載）
- ⑤ SNSを積極的に活用した情報公開

以上

令和5年度 「鶴見区民文化センター」 収支予算書兼決算書
(2023.4.4~2024.3.31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	163,366,000					横浜市より
利用料金収入	21,481,000					
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	5,422,000					
自主事業収入	0					
雑入	400,000					
印刷代						
自動販売機手数料	260,000					
委託チケット販売手数料、利子	140,000					
収入合計	190,669,000					

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	98,632,000	0	0	0	0	
給与・賃金	98,632,000					
社会保険料						
通勤手当						
健康診断費						
勤労者福祉共済掛金						
退職給付引当金繰入額						
事務費	7,562,000					
旅費	38,000					出張旅費
消耗品費	1,900,000					
会議賄い費	10,000					
印刷製本費	1,000,000					
通信費	2,401,000					電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	81,400					
横浜市への支払分	81,400					目的外使用料
その他	0					
備品購入費	576,000					
図書購入費	0					
施設賠償責任保険	235,840					
職員等研修費	60,000					
振込手数料	72,000					
リース料	360,000					
雑費・ホームページ運用費	817,760					雑費
地域協力費	10,000					
事業費	7,870,000					
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費						
自主事業費	7,870,000					
管理費	89,954,000					
光熱水費	33,108,000					
電気料金	15,400,000					
ガス料金	17,200,000					
水道料金	508,000					
清掃費	2,038,000					日常・定期清掃費
修繕費	2,160,000					
機械警備費	660,000					
設備保全費	13,600,000					
空調衛生設備保守	3,388,000					
消防設備保守	0					
電気設備保守	185,000					
害虫駆除清掃保守	270,000					
その他保全費	9,757,000					ピアノ、音響、舞台等保守費
共益費	38,388,000					
公租公課	48,000					
事業所税	0					
消費税	0					
印紙税	48,000					
その他（ ）	0					
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	2,160,000					
本部分	2,160,000					労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	0					
二一ズ対応費	0					
支出合計	206,226,000					
差引	△ 15,557,000					
自主事業費収入	5,422,000					
自主事業費支出	7,870,000			0		
自主事業収支	△ 2,448,000			0		
管理許可・目的外使用許可収入	260,000			0		
管理許可・目的外使用許可支出	81,400			0		
管理許可・目的外使用許可収支	178,600			0		

令和 5年度 (2023年度) 自主事業 収支予算案 鶴見区民文化センター・サルビアホール

	開催月	開催場所		収入	支出
1	4月	2F鶴見中央コミュニティハウス	サルビアアカデミー①	150,000	100,000
2	5月	4Fホール	福本純也ファミリージャズコンサート	355,000	455,000
	5月	4Fホール	福本純也チョコ・ラ・テ・ピアニオ	575,000	338,000
	5月	3F音楽ホール	さるびあ落語①	68,000	49,000
3	6月	全館	オープンデー2023	33,000	224,000
4	6月	3F音楽ホール	デュオ・ナチュレル(ソプラノ・ピアノ)	255,000	248,000
5	7月	3F音楽ホール	さるびあ狂言会	314,000	689,000
6	8月	ギャラリー・リハーサル室	山内わかな展(8/5-13) & ワークショップ	20,000	210,000
7	8月	ギャラリー	サルビア写真展	0	36,000
8	8月	ギャラリー	Salvia 美術倶楽部	23,000	17,000
9	8月	リハーサル室	サルビアベース①	50,000	55,000
10	9月	3F音楽ホール	さるびあ落語②	68,000	49,000
11	9月	2F鶴見中央コミュニティハウス	サルビアアカデミー②	100,000	103,000
12	10月	3F音楽ホール	サルビアプレミアムクラシック「オーケストラの首席」vol.6	960,000	1,868,000
13	10月	3F音楽ホール	フラメンコギターコンサート	255,000	238,000
14	10月	リハーサル室	サルビアベース②	50,000	55,000
15	11月	リハーサル室	こども企画委員 7月～11月	150,000	1,052,000
16	11月	館外	アウトリーチ(地区センター等)	90,000	150,000
17	11月	小中学校	横浜市芸術文化教育プラットフォーム(4校予定)	491,000	446,000
18	12月	3F音楽ホール	クリスマスコンサート	575,000	649,000
19	1月	3F音楽ホール	さるびあ落語	68,000	49,000
20	1月	リハーサル室	サルビアベース	50,000	55,000
21	2月	ギャラリー	サルビア子ども絵画展	0	84,000
22	2月	3F音楽ホール	わたしはピアニスト(音楽ホール空き日に実施します)	72,000	0
23	3月	鶴見公会堂(検討中)	さるびあ落語 特別版	650,000	650,000
			小計	5,422,000	7,869,000
			複合制作費(催し物案内、ケータリング、広告など)		0
			合計	5,422,000	7,869,000

横浜市鶴見区民文化センター サルビアホール 令和5年度保守点検日

保守内容	業者	回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ホール 舞台機構設備点検	株式会社サンケン・エンジニアリング	年4回 3日間	天井工事のため今年度は音楽ホールのみ											
音楽ホール 舞台機構設備点検	株式会社サンケン・エンジニアリング	年2回1日					1日間 4						1日間 2	
ホール・音楽ホール 舞台照明設備点検	東芝ライテック株式会社	年2回 H2日間 年2回 音H1日 (H1日目に含せる)	天井工事のため今年度は音楽ホールのみ											
高所作業車ジニタワー	東芝ライテック株式会社	年1回1日 (H日程のいずれか1日)											1日間 15予定	
ホール・音楽ホール 舞台音響設備点検	ヤマハサウンドシステム株式会社	H 年1回3日 音H年1回2日				音H2日間 06 07	天井工事のため今年度は音楽ホールのみ							
ホールロールバック 椅子点検 舞台機構に搭載する椅子点 検 一般固定椅子点検	株式会社コトブキ シーティングカンパニー	年1回 音Hも同日	天井工事のため今年度は音楽ホールのみ										音H1日間 16	
搬入ロリフター点検	中央パーツ工業社	年1回											2/2 サンケンと同 日予定	
ホールピアノ 保守点検	(株) ヤマハミュージックリテイリング 横浜店	保守 年2回2日 間 調律 年2回1 日	天井工事のため今年度については検討中											
音楽ホールピアノ 保守点検定期調律	(株) ヤマハミュージックリテイリング 横浜店	保守 年2回2日 間 調律 年2回1日		定期調律 22			保守2日間 17 18			定期調律 10			保守2日間 19 20	
リハーサル室ピアノ 保守点検定期調律	(株) ヤマハミュージックリテイリング 横浜店	保守 年1回 調律 年5回 AM1コマ		定期調律 11A		定期調律 13A		保守1日間 7		定期調律 9A		定期調律 11A		定期調律 8A
練習室ピアノ 定期調律	(株) ヤマハミュージックリテイリング 横浜店	調律 年6回 PM2コマ		定期調律 11P		定期調律 13P		定期調律 8A		定期調律 9P		定期調律 11p		定期調律 8P

